

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 火曜日・5校時	必修選択 選択	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	酒の科学 ( Science of Alcoholic Beverages )		
対象年次 1・2学年	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 総合科学	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員:上江田一雄 /Eメールアドレス:kazuo-u@nagasaki-u.ac.jp /研究室:環境科学部 424-1 号室 /TEL:095-819-2744 /オフィスパワー:特別に設けませんので、質問等のある受講者は、前もって電話等でアポイントメントをとってから来室してください。			
担当教員(オムニバス科目等)	林田雅希(保健・医療推進センター), 高橋正克(大学教育機能開発センター), 木下裕久(医学部・歯学部 附属病院), 姫野順一(環境科学部), 池田幸恵(環境科学部), 才津祐美子(環境科学部), 正本忍(環境科学部), 松田雅子(環境科学部), 上江田一雄(環境科学部)		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標  授業のねらい: 百薬の長ともいわれる酒ですが、酒の一气飲みで命を絶つ若者が後を絶ちません。この講義では酒を理解し、かつ、酒が心身に与える影響を学んで、成人になって酒をおいしく味わうようになることがねらいです。  授業方法: 通常の講義型式で行います。  授業到達目標: 酒を理解すること、および酒の心身に与える影響を理解することです。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)  授業内容(概要) 酒について多面的な視点から講義します。  第 1回(10月 6日) 酒とは一概説-(上江田) 第 2回(10月13日) 清酒・焼酎(上江田) 第 3回(10月20日) フランスとワイン(正本) 第 4回(10月27日) ワイン・ビール・ウイスキー(上江田) 第 5回(11月10日) 日本文学におけるお酒(池田) 第 6回(11月17日) 酒と薔薇の英米文学(松田) 第 7回(11月24日) 薬としてのアルコール(高橋) 第 8回(12月 1日) アルコールの薬理学(高橋) 第 9回(12月 8日) リキュール(上江田) 第10回(12月15日) 酒の生化学(上江田) 第11回(12月22日) 急性アルコール中毒(林田) 第12回( 1月12日) アルコール依存症(木下) 第13回( 1月19日) 酒の民俗学(才津) 第14回( 1月26日) 焼酎造りとまちづくり(姫野) 第15回( 2月 9日) まとめ(上江田)			
キーワード	酒, 清酒, 焼酎, ワイン, ビール, ウイスキー, リキュール, 文学, 薬理, 微生物, 健康, 民俗学, まちづくり		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しません。随時、視聴覚機器やプリントを使います。第1回目の講義で参考図書リストを配布します。		
成績評価の方法・基準等	毎回のレポート(100%)で評価します。		
受講要件(履修条件)	ありません。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	ありません。		
備考(準備学習等)	ありません。		